

# 100億ThinkTank 活動ガイドライン

制定日:2026年3月4日  
最終改定日:2026年3月4日  
株式会社XLOCAL

## 1. 基本姿勢

株式会社XLOCAL(以下「当社」といいます)は、当社の親会社である株式会社SHONAI(以下「SHONAI」といいます)が掲げる「地方の可能性を世界経済とつなぐ」というミッションのもと、自由で健全な地方社会と経済、公平で信頼性の高いコンテンツを発信します。

また、当社のメディア事業のコンテンツに関わる者(以下「クリエイター」といいます)は、高い倫理観を持ち、表現の自由に基づき、人々の知る権利に応えるよう努めます。

更に、当社は、「地方の経営者に世界を変える出会いを」のコンセプトを貫き、新しい地方の経済・ビジネス・人に出会うおもしろさ、学ぶ楽しさ、が伝わるコンテンツを発信します。

## 2. 基本的人権の尊重

クリエイターは、基本的人権を尊重し、個人の名誉やプライバシー、肖像権などを不当に侵害いたしません。

## 3. 取材源の秘匿

クリエイターは、報道に関わる者の基本的な倫理である「取材源の秘匿」を遵守します。

## 4. 取材と情報の取り扱い

当社は、現場に足を運んで、直接話を聞くことを何より大切にします。他の記事や発表に依拠する場合、著作権法その他を遵守し、第三者の著作権その他第の権利を侵害いたしません。また、当社は、取材その他業務を通じて得た情報を、取材先の同意を得ることなく、コンテンツ制作その他業務以外の目的で利用することはしません。

## 5. メディア部門の独立性

当社は、コンテンツ制作の独立性を大切にし、メディア制作とビジネス部門との間に明確な線を引き、取材を通して得た情報の秘匿性・コンテンツの公正性を守ります。

## 6. 出資先等についての取り扱い

当社メディア部門は、メディア事業の運営にあたり必要があると考える場合には、当社の他部門及びSHONAI(SHONAIのグループ企業を含みます。以下本項において同様とします。)の影響を受けることなく、また、当社又はSHONAIが直接又は間接的に出資を受けた企業についてもコンテンツにすることがあります。その際には、その企業と私たちの関係を明示します。

## 7. 職務倫理

当社及びクリエイターは、取材源との間で、社会的な慣習の範囲を超えて、取材・報道に関して金銭や品物の授受はしません。

## 8. SNSの利用

当社は、メディアに携わる者として、公私にかかわらず、ソーシャルメディアで発信することを奨励しています。その際には、本ガイドラインに準じて行動します。

## 9. 訂正と説明責任

当社は記事に誤りがあった場合は、訂正するなどの適切な対応をします。

# 知的財産の保護ポリシー

## 1. 基本方針

- ・当社はSHONAIが掲げる「地方の可能性を世界経済とつなぐ」というミッション実現のため、著作権をはじめとするあらゆる知的財産権の重要性を認識し、保護に努める。
- ・当社の保有する知的財産権については、その適切な維持管理に努め、違法・無断利用は厳正対応する。適切な引用や拡散は歓迎する。
- ・クリエイター・出演者・編集者の権利を尊重し、他社の知的財産権を侵害しない。

## 2. 出演者等の知的財産権

- ・出演者の肖像権・発言内容の利用は、出演契約により当社が必要範囲で利用できる状態を確保する

## 3. 社外利用の扱い(引用・転載・切り抜き)

### 3.1 許可なく可能(歓迎)

公式URLの共有(SNS、ブログ、社内チャット)

作品を改変しない範囲での「引用」(出典明記が必須)

感想・批評・紹介

### 3.2 原則禁止(許諾が必要)

記事全文転載、動画の再アップロード

有料部分のスクリーンショット共有

音声の抜粋再配布

切り抜き動画の作成・投稿(収益化の有無を問わず)

図解やスライドの無断転用(資料化含む)

### 3.3 許諾の条件(許可する場合)

許諾する場合は以下を原則条件とする。

出典表記(媒体名・URL)

改変禁止(編集意図を損なう切り取り禁止)

収益化する場合は別途契約

二次利用範囲・期間を明確化

## 4. 社内利用(情報漏えい防止)

有料動画・未公開動画・台本・編集素材は「社外共有禁止」を原則とする

社内資料の外部持ち出し(Google Drive共有・メール転送等)は事前承認制  
生成AIへの入力は、機密区分に応じて制限する(未公開原稿・素材は禁止)

## 5. パートナー／取材先との取り扱い

取材協力により得た情報は、契約または同意の範囲でのみ利用する

NDA情報と編集成果物を混同しない(編集物は当社知財)

先方ロゴ・商標・資料の利用は、許諾範囲を明確化する

## 6. 違反对応(運用フロー)

### 6.1 優先順位

有料部分の流出

動画の無断再アップ

切り抜き収益化

図解・スライド盗用

記事/資料転載

### 6.2 対応ステップ

証拠保全(URL、スクショ、投稿日時、アカウント情報)

削除依頼(プラットフォーム通報+投稿者への通知)

悪質・反復の場合: 法的措置検討(弁護士連携)

## 7. 違反对応(運用フロー)

### 7.1 優先順位

有料部分の流出

動画の無断再アップ

切り抜き収益化

図解・スライド盗用

記事/資料転載

### 7.2 対応ステップ

証拠保全(URL、スクショ、投稿日時、アカウント情報)

削除依頼(プラットフォーム通報+投稿者への通知)

悪質・反復の場合: 法的措置検討(弁護士連携)

# 生成AI活用ポリシー

## 1. 目的

本ポリシーは、生成AIおよび関連技術を活用するにあたり、創造性・生産性を高めつつ、信頼性・倫理性・知的財産を守ることを目的とする。

## 2. 基本方針

AIは「編集者・研究者・企画者の補助」であり、代替ではない

最終責任は常に人間(当社)に帰属する

事実・分析・思想の“正しさ”は人が担保する

AI利用は透明性を重視し、必要に応じて開示する

未公開情報・機密情報はAIに入力しない

## 3. 利用対象となるAI

以下を含むが、これに限定されない。

文章生成AI(記事草稿、要約、翻訳、構成案)

画像・動画生成AI(図解、サムネ案、イメージボード)

音声AI(文字起こし、要約)

分析支援AI(仮説整理、論点抽出)

社内AIツール(独自モデル含む)

## 4. 利用が認められる用途(OK例)

### 4.1 編集・制作支援

記事・動画の構成案作成

草稿・ラフ案の生成

要約、書き起こし、翻訳

表現の言い換え、校正補助

### 4.2 調査・思考補助

論点整理、仮説列挙

既存情報の整理・比較

アイデアブレスト

※いずれも事実確認・編集判断は人間が行うことが前提

## 5. 利用が禁止される行為(NG)

未公開記事・有料コンテンツ・取材メモ・編集素材の入力

NDA情報・個人情報・機密データの入力

AI生成物を無検証のまま公開すること

他社コンテンツを模倣・盗用する目的での利用

出演者・第三者の人格や発言を捏造する生成

AI生成物を人間の成果として偽る行為

## 6. コンテンツへのAI関与の扱い

### 6.1 原則

AIは補助ツールであり、著作権・編集責任は当社に帰属  
AI生成物そのものに著作権が認められない場合でも、  
当社の編集・選択・構成により成果物としての権利が発生する

### 6.2 開示方針

以下の場合には、AI利用の開示を検討する。

AIが文章・図解・画像の大部分を生成した場合

読者・視聴者の理解や信頼に影響を与える可能性がある場合

(例)「本コンテンツの制作には生成AIを補助的に利用しています」

## 7. ファクト・品質管理

事実関係・数値・引用は必ず人間が一次確認する

AI出力をそのまま「専門家の見解」として扱わない

意見・分析・予測は、人の責任で最終判断を行う

## 8. 知的財産・学習データへの配慮

AIに入力する情報は、当社が利用権を有するものに限る

他社の有料コンテンツ・非公開資料を学習・再生成目的で使用しない

生成物が既存著作物と酷似していないか確認する

## 9. 社内ルール(運用)

AI利用は業務目的に限定する

個人アカウント利用時も本ポリシーを遵守する

新しいAIツール導入時は、事前に管理部門へ相談する

重要用途(公開・有料・対外発信)は責任者レビューを必須とする

## 10. 違反時の対応

軽微: 注意・再教育

重大: 利用停止、懲戒、契約見直し

社外問題化の場合: 公表・説明・是正措置を検討

## 11. 継続的見直し

本ポリシーは、技術・法規制・社会状況の変化に応じて定期的に見直す。